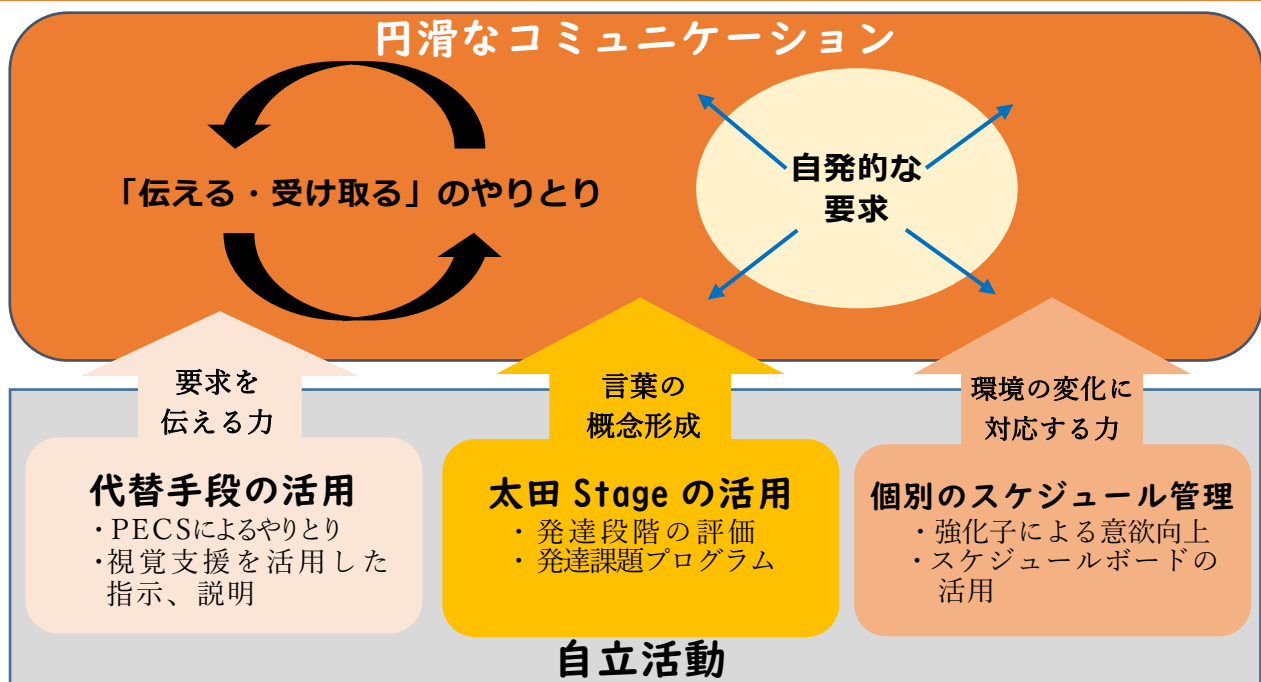


平成 31 年度	後期長期研修	教科・領域	知的障害教育
所属学校	島尻特別支援学校	氏名	小橋川 準
テーマ	自閉症児の円滑なコミュニケーションを目指した自立活動の工夫		
サブテーマ	代替手段の活用を通して		
概 要	発語の見られない児童が、「伝える」「受け取る」といったやりとりに必要な力を身に着け、円滑なコミュニケーションができるよう、「代替手段の活用」「太田 Stage の活用」「個別のスケジュール管理」などの自立活動の工夫を行った。これらの取り組みにより、コミュニケーションへの意欲が高まり、また見通しを持って行動できるようになることで心理的な安定なつながり、期待感を持って学校生活を送ることができるようになると考え、実践的研究を行った。		
キーワード	自閉症 知的障害 コミュニケーション 代替手段 太田ステージ PECS 絵カード 自立活動 登校しづり		

イメージ図



成 果

- 自立活動の時間をベースに、あらゆる場面で代替手段によるやり取りを積み重ねることにより「伝わる実感」が得られ、自発的に要求する姿や登校しづりの減少に繋がった。
- 用途を表す言葉や色や形、物の大小など、言葉の理解に広がりが見られた。
- スケジュールボードを操作することで授業の見通しを持ち、好きな活動が控えていることに期待感を持って活動することができた。